

# 楽に買い物したくない？

## ～筑波大学における移動スーパーについて～

---

生活安全環境班

大野友伽里(班長), 芦田遥陽, 影石結衣(副班長), 池田佳代(書記),

岡野圭吾(印刷), 宗野桂太(DB), 島ノ江彩加, 根本美里(渉外)

担当教員: 吉野邦彦 TA: 岡部寛



# 背景

---

カスミの移動スーパーとは？

- 買い物弱者支援活動の一環として2012年3月から開始

買い物弱者とは？

流通機能や交通網の弱体化とともに食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々

- つくば市では、高齢者率が高い荃崎地区(31.9% H26年)を中心に展開(2014年度サステナビリティ班の報告より)

# 背景：移動スーパーの経営状況

---

- 客数が少ない、客単価が安い→3年前のデータでは赤字採算が取れていないのではないかと
- 利用者には好評
- H25年1月まで電気自動車を実証的に使用  
環境省より補助金が出ていた



# 背景：学内での移動スーパー

---

カスミの移動スーパーが4/15(土)から筑波大学でも開始！







**毎週土曜日**

4月15日より開始

**販売時間**

一の矢宿舎(36号棟駐車場) 11:00 から 12:00  
 グローバルヴィレッジ 12:10 から 13:10  
 ※変更する場合がございます

《お問合せ先》

カスミ万博記念公園駅前店

TEL/029-848-1130

受付時間/あさ10時～よる8時



※積載量に限りがございますので、品切れの際はご容赦くださいませ。  
 ※商品は、折り込みチラシ、週刊ちゃ〜ぶる、ネットスーパーに掲載の価格では、取り扱いいたしておりません。  
 ※木曜メガ割10%割引は実施しておりません。※値引券・割引券はご利用いただけません。但し、カスミ商品券・カスミ株主優待券はお使いいただけます。  
 ※KASUMIカード、イオンマークの付いたクレジットカードがご利用いただけます。  
 ※カスミ移動スーパーでのお買物の際は、エコスタンプカードへの押印はいたしません。※リサイクル可能資材の回収はいたしておりません。  
 ※お刺身・お寿司につきましては、予約用パンフレットをご用意いたしております。そちらをご覧ください。



**一の矢学生宿舎  
36号棟駐車場**

**グローバルヴィレッジ**



# 背景：学内での移動スーパー

カスミの移動スーパーが4/15(土)から筑波大学でも開始！

筑波大生も買い物弱者！？



# 背景：聞き取り調査

---

目的：筑波大生がどれだけ買い物に困っているかを知るため

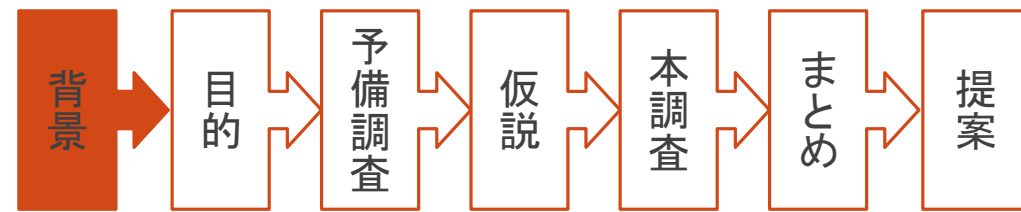
対象：筑波大生14人（日本人学生6人、外国人学生8人）

- 14人中13人が買い物を不便と感じている
- 聞き取り調査を行った外国人学生全員が  
買い物に関して困っていることがあると回答



買い物に困っている筑波大生もいる！



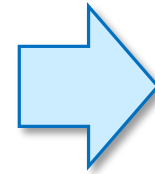


## 背景③ 聞き取り調査

「店が遠く、買い物に行くのが大変」



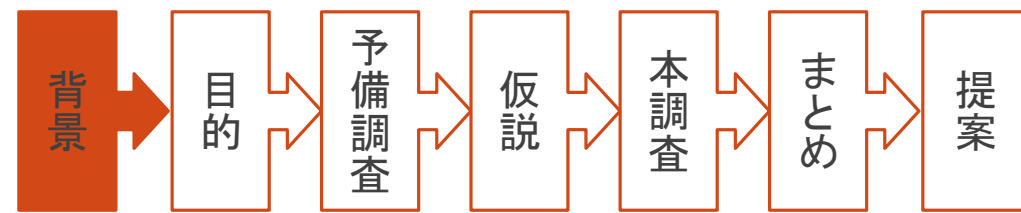
~~店を近づける  
店に近づける~~



ネットスーパー  
移動スーパ







## ネットスーパー

- 取扱商品数が**豊富**

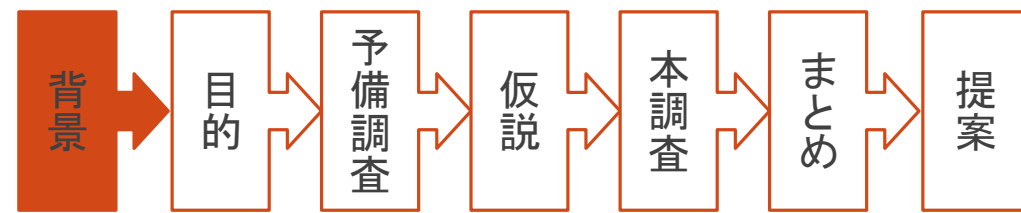
- 原則、受け取り時間帯に**在宅の消費者**

- 利用できる**客数**が

=単価が高くないと採算が取れない

大学生は一回で  
そんな買い物しない





## 移動スーパー

- 取扱商品数が**少ない**
  - 買い物できる**時間が短い**
  - 利用できる**客数が多い**
- ＝単価が低くても採算が取れる

筑波大学内では移動スーパーのほうが儲かる



# 研究目的

---

移動スーパーを後押しすることで  
筑波大生の買い物事情を改善



# 研究方法：フローチャート

---

ヒアリン  
グ調査

現地調査

予備調  
査

問題点の  
明確化

改善策  
の提案

本調査

実施調査

仮説の  
検証

# ヒアリング調査の概要

---

- 目的: 移動スーパー開始の背景を知るため
- 対象者: 株式会社カスミ、大和リース株式会社

## ＜調査内容＞

- ・ 移動スーパー開始の経緯
- ・ 移動スーパーの実態





# ヒアリング調査:カスミ

---

- 大和リース側からの依頼により移動スーパーを実施
- 大学生のほしい商品がわからず困っている
  - 初回はお弁当を多く積んだ
  - 他の地域と同じ商品を持って来ている



# ヒアリング調査:大和リース

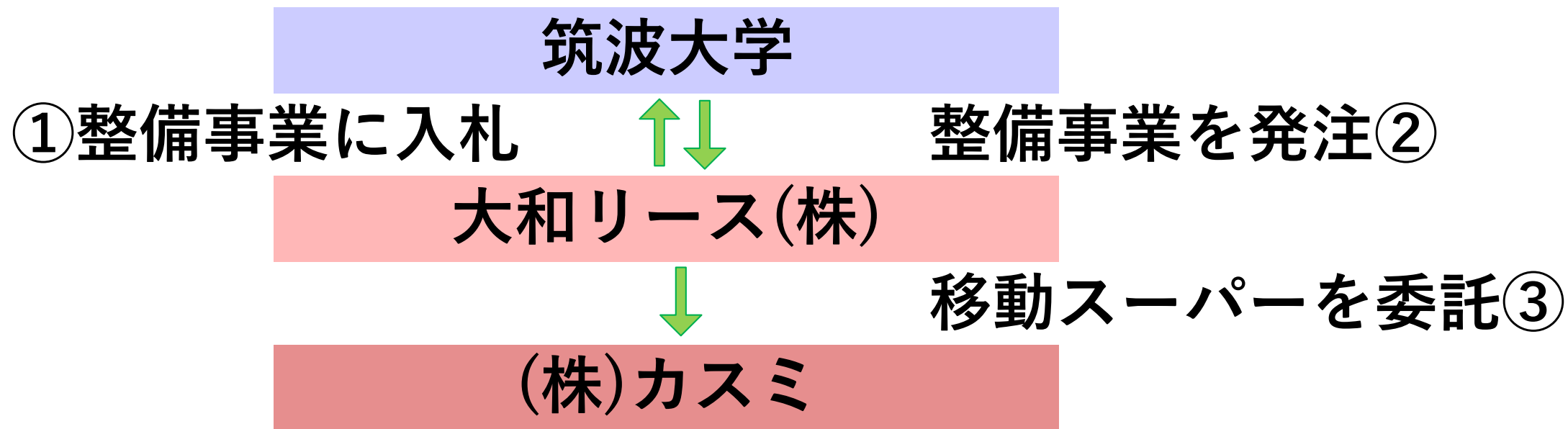
---

- グローバルレジデンス整備事業の1つとして依頼  
グローバルレジデンス事業とは？  
グローバル人材の育成、国際性の日常化のため  
→グローバルヴィレッジなど
- 学生(特に留学生)の買い物の利便性を向上
- 場所は管理しているエリアの2か所



# ヒアリング調査:3者の関係

---



# 学生と移動スーパーの実態調査の目的

---

## ①現地調査

移動スーパーの取り扱い商品や利用者の数  
客層を知るため

## ②アンケート調査

学生の買い物事情を知るため



# 現地調査の概要

---

- 調査目的: 移動スーパーの実情を知るため
- 日付: 4/22(土), 4/29(土), 5/6(土), 5/13(土) の4回
- 場所: 一の矢学生宿舎、グローバルヴィレッジ

## <調査内容>

- ・客層、品揃えの見学
- ・利用者への聞き取り
- ・スタッフへの聞き取り





# 現地調査結果:移動スーパーの品揃え

- 生鮮食品から日用品まで取り揃えている
- 広告商品も取り扱っている
- 値段は店舗と変わらない



撮影日:4/22(土) 価格および商品札



撮影日:4/22(土) 車内の様子(一の矢)

# 現地調査結果：利用者

- 一の矢学生宿舎は外国人の客が8割
- 外国人の客が多いにもかかわらず  
英語表記がない、英語対応のできる店員がない
- 利用者は移動スーパーを便利と感じている  
→外国人の方の中には  
「日本語が分からない」「原材料が不明」



撮影日:5/13(土) お客様の様子

# アンケート調査の概要

---

- 調査目的: 買い物が不便だと思われる学生の背景を調べる
- 期間: 5/2(土)～5/9(土)
- 対象者: 筑波大学生(日本人学生、外国人学生)
- 方法: Googleフォームによるインターネット調査と  
紙媒体による対面調査
- 人数: 286人  
…227人(日本人学生), 59人(外国人学生)



# アンケート調査の項目

---

## <調査項目>

- ・個人属性
- ・買い物をする頻度・場所等の普段の買い物実態
- ・移動スーパーの認知度、利用頻度、希望

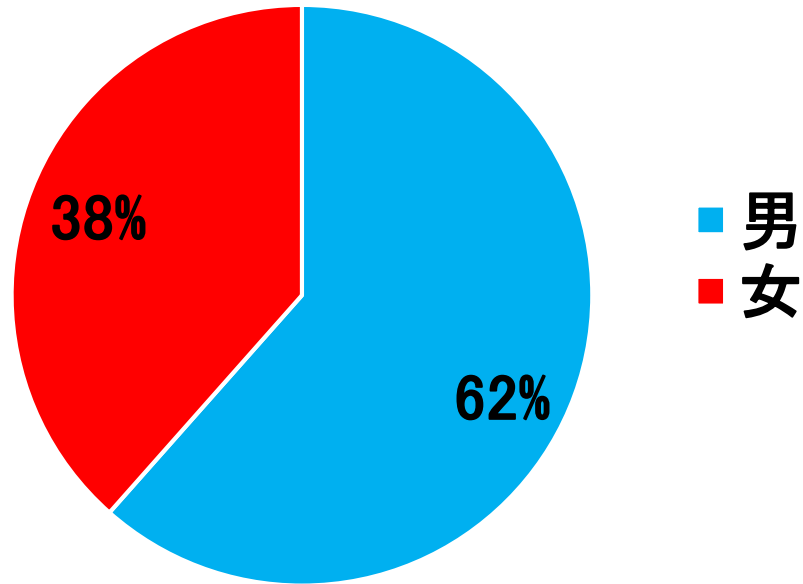
全25問

インターネット調査と対面調査は同じ質問内容

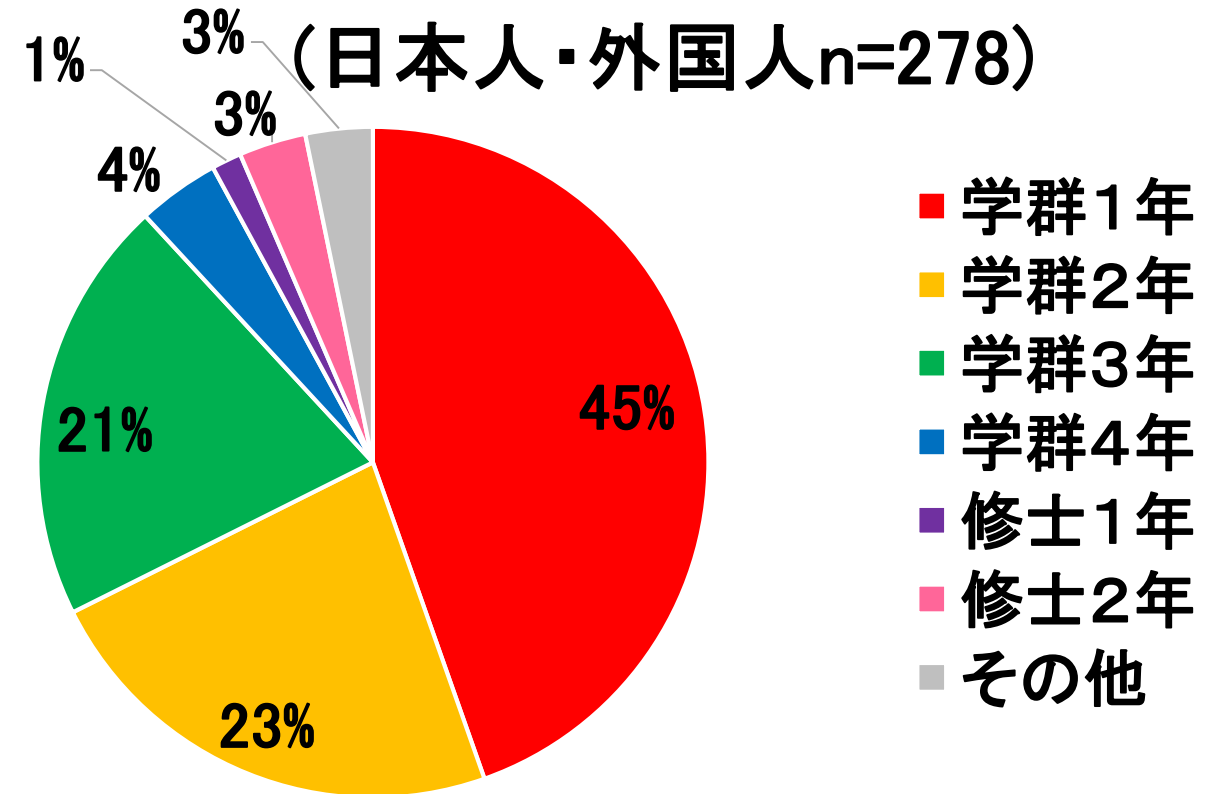


# 回答者の属性：男女比、学年

男女比  
(日本人・外国人n=286)



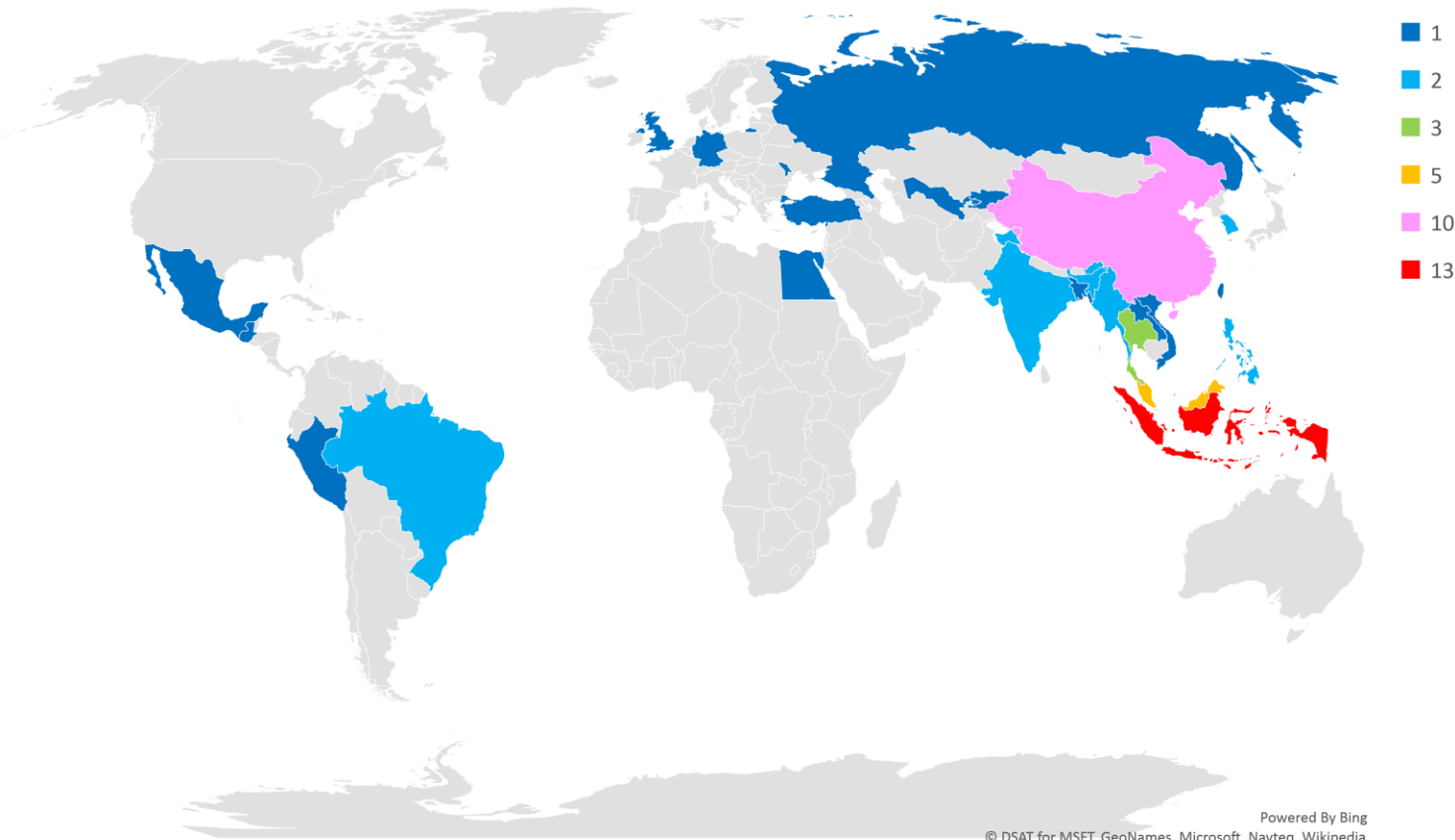
学年  
(日本人・外国人n=278)





# 回答者の属性：出身国

出身国(人) n=58

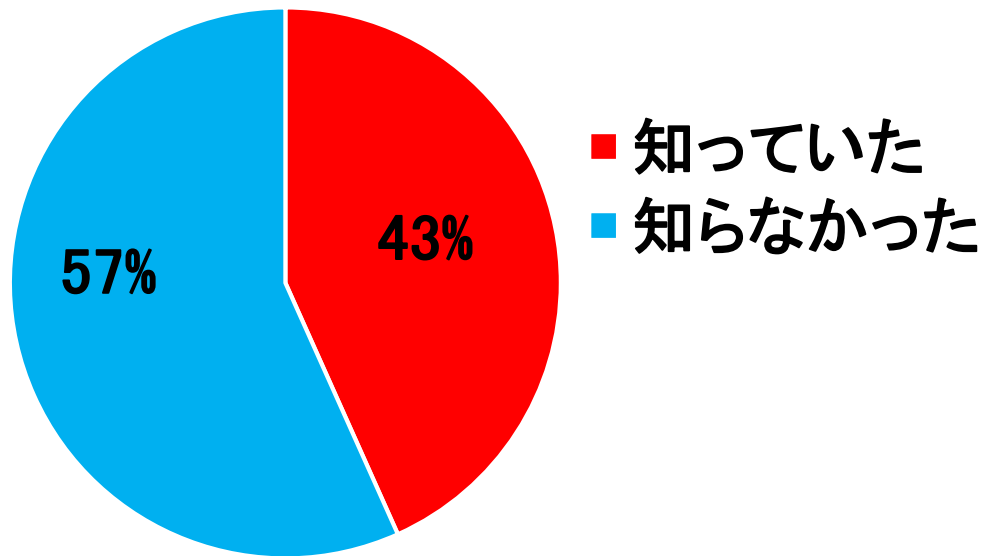


アメリカ	2	トルコ	1
イギリス	1	バングラデシュ	1
インド	2	フィリピン	2
インドネシア	13	ブラジル	2
ウズベキスタン	1	ベトナム	1
エジプト	1	ペルー	1
韓国	2	マレーシア	5
キルギス	1	ミャンマー	2
グアテマラ	1	メキシコ	1
タイ	3	モルドバ	1
台湾	1	ラオス	1
中国	10	ロシア	1
ドイツ	1		

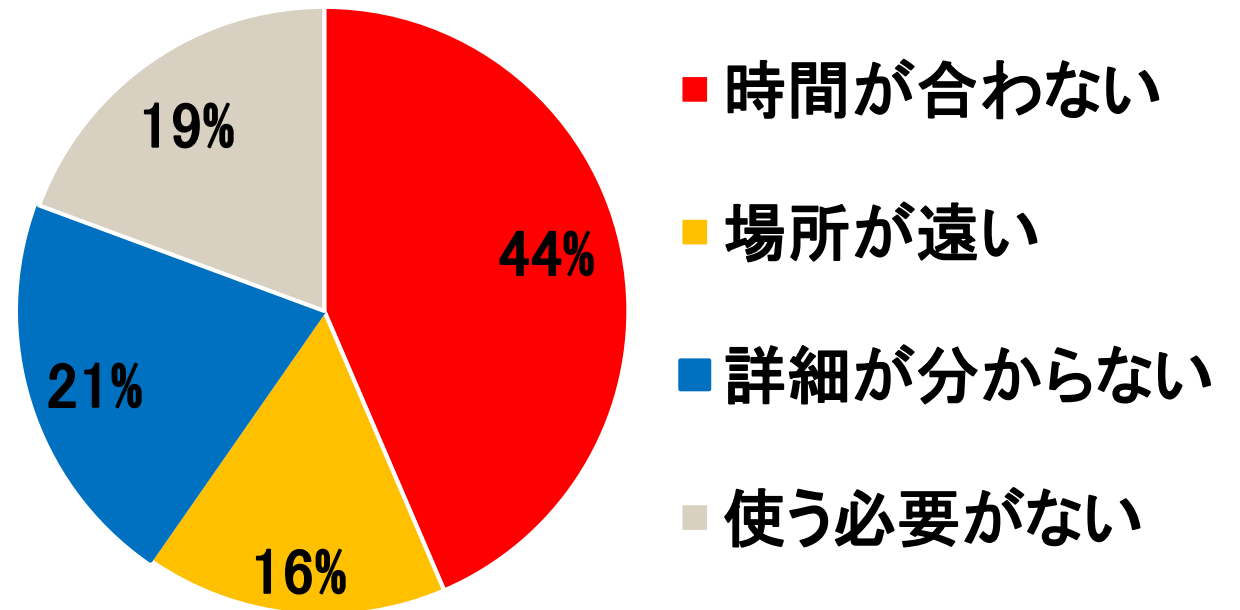
出身国(人) n=58

# アンケート調査の結果：日本人学生

移動スーパーの認知度  
(n=236)



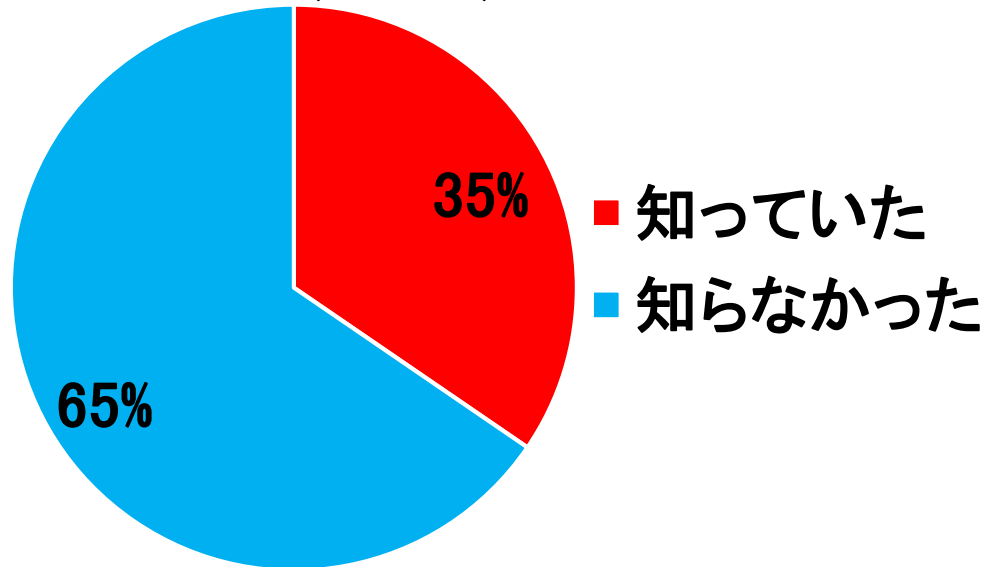
知っていた人で利用しなかった理由  
(n=62)



# アンケート調査の結果：外国人学生

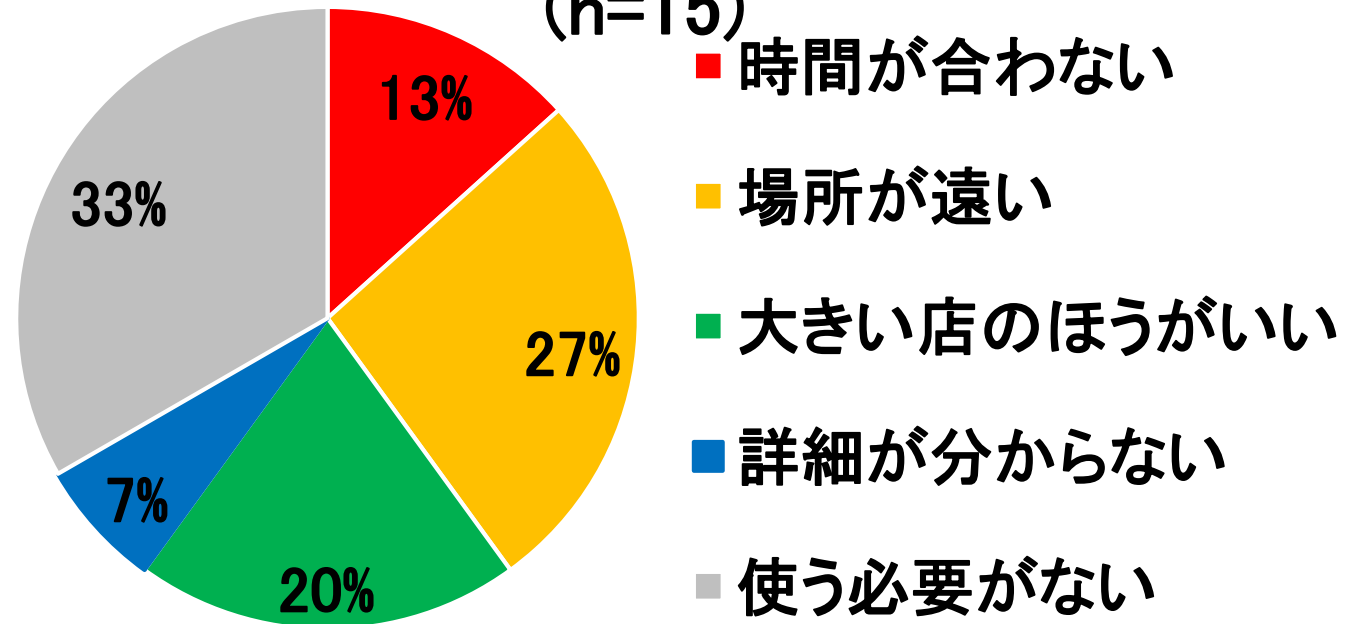
## 移動スーパーの認知度

(n=55)



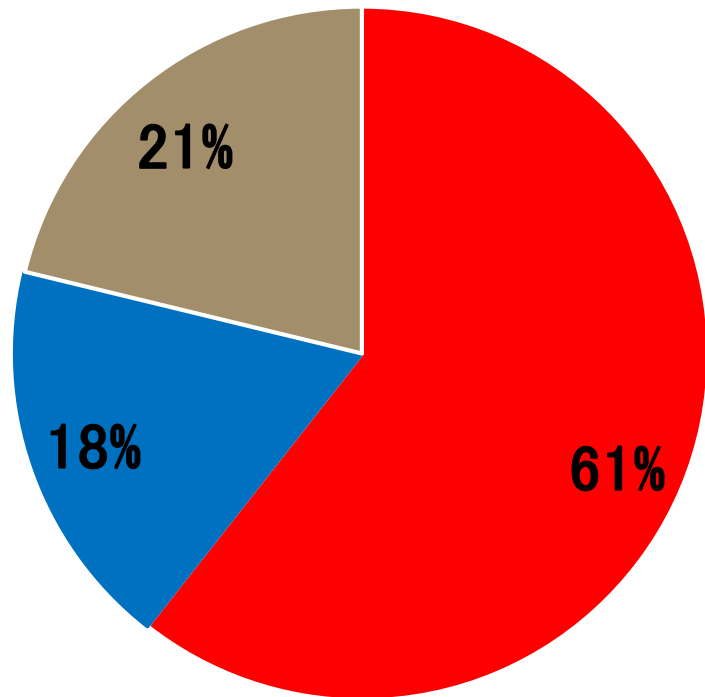
## 知っていた人で利用しなかった理由

(n=15)



# アンケート調査の結果：外国人学生

買い物に関して困っていること  
(外国人n=33)



- 日本語表記  
(原材料読めない含む)
- 近くにスーパーがない
- その他

半数以上の方が  
日本語表記しかないことに  
悩まされている！

# 移動スーパーの問題点

---

- 認知度が低い
- 時間帯が合わない
- 場所が遠い
- 英語対応がされていない
- 品数が少ない





# 仮説

---

- ①認知度の上昇
- ②販売時間の変更
- ③販売場所の変更
- ④英語表記の導入
- ⑤商品の追加

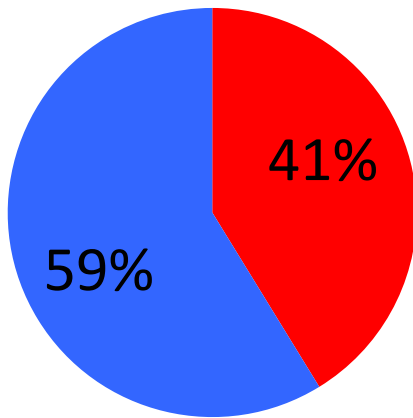
これにより移動スーパーのサービスを  
さらに多くの筑波大生に提供できるのではないか？



# 仮説①:認知度の上昇

---

## 移動スーパーの認知度 (n=291)



- 知っていた
- 知らなかった

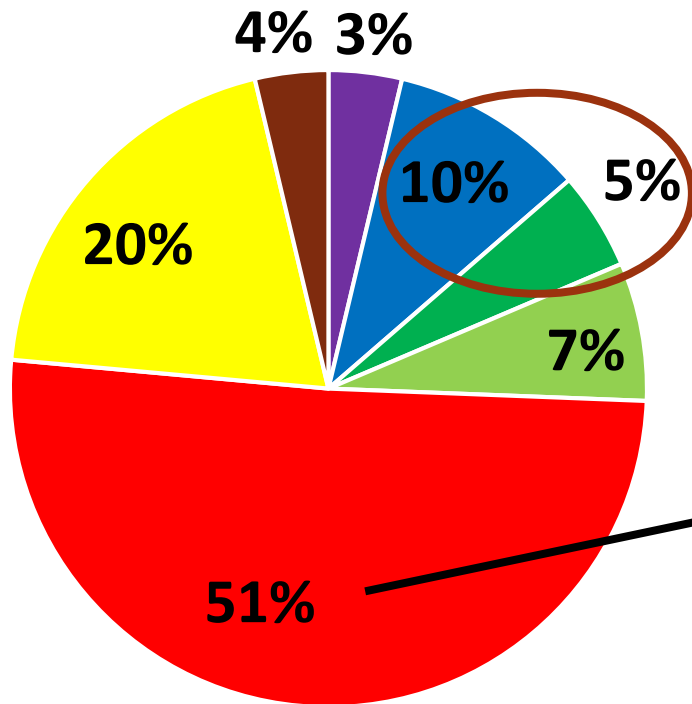
全体の約60%が知らない



認知度を向上させる  
必要がある！

## 仮説②:販売時間の変更

販売時間希望  
(日本人・外国人n=233)



■ 6~9

■ 9~12

■ 12~15

■ 15~18

■ 18~21

■ 21~24

■ 24~

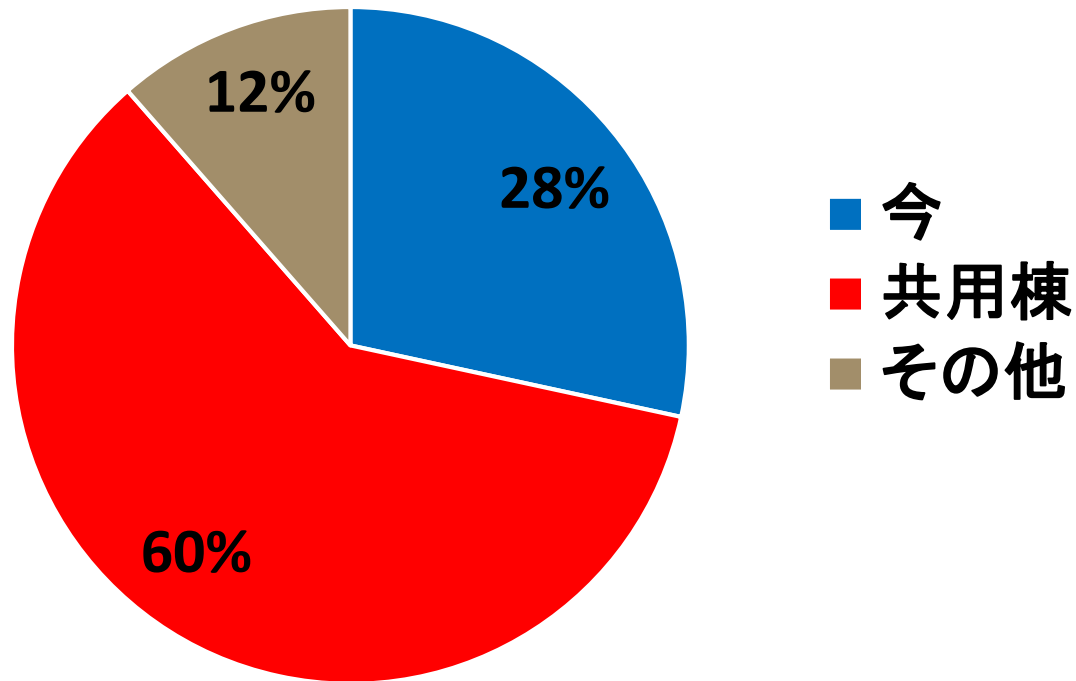
現在の時間帯(11時~13時)は  
15%にも満たない

昼間は授業、部活で買い物に  
行けない

18時~21時が半数！

# 仮説③:販売場所の変更

販売場所希望  
(日本人・外国人n=236)



共用棟前、その他の場所  
(石の広場、大学会館周辺)も検討

## 仮説④:英語表記の導入

現地調査及びアンケート調査の結果から

→外国人学生は日本語表記に困っている

→英語表記を導入すれば不便さは解消されるのでは



日本語が分からない。  
何が入っているのか不安。

**7割**の外国人学生が感じている  
(アンケート調査結果より)

## 仮説⑤:商品の追加

---

カスミ「学生の希望する商品が分からない」

→学生が移動スーパーで購入したいもの

- ・ばら売りの野菜
- ・生鮮食品:肉、魚、野菜
- ・飲み物:水
- ・ハラルフード                      etc...

\* ハラルフード…ハラルフードとはイスラム教の作法にのっとって処理された食肉(海産物は全般はハラル、豚肉はだめ！)

# これまでの過程：フローチャート

---

ヒアリン  
グ調査

現地調査

予備調  
査

問題点の  
明確化

改善策  
の提案

本調査

実施調査

仮説の  
検証



# 最終発表に向けて

---

- 移動スーパーの利用状況を知るための実態調査
- 時間・場所等についてのニーズの詳細を知る
- 仮説の有効性を確かめるため、実施調査
- 利用者の反応を見る



# ご協力いただいた方々

---

(株)カスミ 宅配事業推進部様

(株)大和リース 水戸支店 規格建築営業所 営業一課 佐藤栄三様

システム情報系 社会工学域 渡辺俊先生

システム情報系 社会工学域 倉田久先生

筑波大学学生生活課

アンケート調査、聞き取り調査にお答えいただいた方々



# 参考文献

---

●2014年度都市計画実習サステナビリティ班 「買い物弱者問題ー筑波・荳崎地区を対象としてー」

●カスミ移動スーパー 資料

●カスミHP:移動スーパー

<https://www.kasumi.co.jp/shopping/idosuper.html>(最終閲覧日5/1)

●筑波大学HP:「外国人留学生在籍数」

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/overseas.html>(最終閲覧日5/8)

●筑波大学HP:「学生宿舎向け移動スーパーの運用を開始」

<http://www.tsukuba.ac.jp/news/n2017042251320.html>(最終閲覧日5/9)

●つくば市HP:「つくば市高齢者福祉計画」

[https://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/dbps\\_data/\\_material/\\_files/000/000/016/739/26-06\\_PC\\_koreifukushiPLN.pdf](https://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/016/739/26-06_PC_koreifukushiPLN.pdf)(最終閲覧日5/15)

●つくば市HP:「移動販売車のEV化事業」

<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14215/14284/9593/9625/009627.html>(最終閲覧日5/15)

ご清聴ありがとうございました

